

季刊

旅から始まる
エコとの出会い
Travel meets Eco

ECO

ツーリズム



JAPAN
ECOTOURISM
SOCIETY

50号

2011.Spring
Vol.13 No.4

記念号



50号発刊記念

私のおきエコツアー
エコツアー写真コンテスト結果発表

特集

遊びにいいこう！日本のエコツアー

季刊『ECO ツーリズム』通巻 50 号をお届けします

おかげさまで、季刊「ECOツーリズム」は発刊50号を迎えました。
 会員の皆さまにご愛顧いただいていたことに感謝の念を表します。

エコツーリズムは推進するための法律までできているにもかかわらず、関係者の間で意見の相違が存在します。また思い入れにも温度差があります。いずれも仕方のないものですが、これらを乗り越えて関係者の連携を深めていくことが極めて大切です。

さらにエコツーリズムそのものの認識が世間でまだ不十分だと言わざるをえません。この点についても地道な活動が求められています。

多くの方を紙媒体を通してつなぐという点で、当会報誌が果たすべき役割は大変大きいと思います。

50号を迎えたこの期に更なる充実を図り、その役割を地道に果たしていきたいと願っています。

同時に読者の皆さまにも更なるご愛読をお願いすると同時に制作の面などで積極的なご参加をいただき、より充実したものにしていこうとご協力をお願い申し上げます。

NPO法人日本エコツーリズム協会
 会長 愛知 和男



JES 会報 季刊「ECO ツーリズム」バックナンバーを販売しています。

【ご注文方法】

氏名、住所、電話番号、号数、部数を明記の上、
 e-mail・fax・郵便あるいは電話にて、JES まで直接ご連絡ください。季刊誌は1部500円(税込)、別途送料がかかります。入金を確認次第お送りいたします。

※バックナンバーの目次はHPでご覧いただけます。



第6回 JTB交流文化賞受賞作品のご紹介



【第6回JTB交流文化賞】は、人や文化との交流による地域活性化の事例を表彰する「交流文化賞」と、実際の旅行体験に基づいた交流を題材とした個人の旅行記を表彰する「交流文化体験賞」の2部門において、2010年8月2日から10月15日にかけて作品を募集いたしました。その結果「交流文化賞」に52作品、「交流文化体験賞」には128作品の様々なジャンルの作品を多数ご応募いただきました。今回受賞作品が選定されましたのでここにご紹介いたします。

受賞作品一覧



交流文化賞	最優秀賞	田舎っぷりが大自慢!! 「若狭三方五湖わんぱく隊」が「地域の誇り」へ… 社団法人 若狭三方五湖観光協会(福井県三方上中郡若狭町)	
	優秀賞	日帰り農村生活体験:ほっとステイ 株式会社 信州せいしゅん村(長野県上田市)	
交流文化体験賞	最優秀賞	パラオでみつけたニッポン 野口 翠	
	優秀賞	スーパのレシピ 保坂 美季	

JTB交流文化賞の詳細な作品内容は「JTB交流文化賞HP」に掲載されています。

JTB交流文化賞HP > www.jtb.co.jp/koryubunka/

事務局通信

クリッピング 16

JESレポート 14

遊びにいろいろ!

日本のエコツアー

北海道・東北エリア

関東エリア

中部エリア

近畿・中国・四国エリア

九州・沖縄エリア

結果発表

エコツアー写真コンテスト

通巻50号をお届けします

季刊『エコツーリズム』

季刊 ECO ツーリズム Vol.13 No.4 通巻 50 号 Spring 2011

発行 NPO 法人 日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)
 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-9 アイケイビル 4F
 TEL 03-5437-3080 FAX 03-5437-3081 E-mail ecojapan@alles.or.jp Web http://www.ecotourism.gr.jp
 発行日 2011年2月25日
 発行人 愛知和男(会長)
 編集長 海津ゆりえ(理事)
 企画・編集 高梨洋一郎(理事) / 大久保史恵(事務局) / 高野千鶴(事務局)
 デザイン 自然堂(じねんどう)株式会社
 印刷 株式会社 谷印刷所

本誌掲載記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

表紙写真
 1998年7月に発行された会報第1号から2010年11月発行の49号までの表紙を取り揃えました。第1号から4号までは、B5サイズの横位置でした。3回のリニューアルを経て、発行50回目を迎えました。これからもどうぞよろしくお願い致します。

私のとっておきエコツアー

エコツアー写真コンテスト結果発表

エコツアーに参加した時の喜びや感動、何かを発見した瞬間のワンショットを募集したところ、106点のご応募をいただきました。写真をお送りいただきました皆様、ありがとうございます。会報48号でご紹介しました動物写真家の田中光常先生をお迎えし、厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞3点、佳作10点を決定しました。入賞された皆様、おめでとうございます。ご応募いただきました写真は、JESの広報活動に使用させていただきます。



最優秀賞



おなまえ 上地智子さん
ツアーの名称 野鳥の森ネイチャーウォッチング (長野県)
ツアーの思い出 「興味のタイショウ」ヤマアカガエルのおたまじゃくしがいる池での一コマ。インタープリターのお話を受けて珍しいカエルの話で盛り上がる人と、おかまいなしに池の中のおたまじゃくしをじっと観察する人…“自然”を見る視点のきっかけをもらってからの行動は自由。それぞれ興味を持つ対象がバラバラで対照的、だけど同じ空間で楽しい時間を過ごせている。そんな様子を映す水鏡がまた対称的でキレイでした。



優秀賞



おなまえ 河内牧栄さん
ツアーの名称 秋の北極圏 ツンドラの紅葉、野生動物&オーロラ観察、撮影&ハイキング (アラスカ)
ツアーの思い出 一番見たかったツンドラの紅葉には感動しました。氷河期の生き残りといわれているジャコウウシは毛が長くても氷河期という感じ、カリブーにも出会え、しかもオーロラまで見ることができ本当に良かったです。ガイドが日本人なので安心でしたし、自給自足をしている方の山小屋も大変かわいらしくて過ごしやすかったです。 ※ツアーの思い出はお客様の声を反映しています。



九谷焼美術館では、藩祖利治と九谷焼誕生の物語を聞いたあと、桜並木の下を手漕ぎの屋形船に乗ってのんびりと流します。この町は、往時のゆったりとした暮らしのリズムが今も残っています。

おなまえ KAGA 旅・まちネットさん
ツアーの名称 小さく静かな城下町・大聖寺モニターツアー (石川県)
ツアーの思い出 知られざるもうひとつの金沢、それが加賀市「大聖寺(だいしょうじ)」。静かで小さな城下町です。歴史的景観と伝統的な生活習慣を今も受け継ぐこの町を外国人がモニターしました。当日は、桜満開のみごとな快晴。蓮光寺では「大茶盛」を体験。

【募集期間】2010年8月25日～12月10日
 【応募総数】106点
 【副賞】最優秀賞(1点)・・・
 キヤノン一眼レフデジタルカメラEOS 50D
 ・優秀賞(2点)・・・
 モンベルカメラシヨルターバッグ
 ・特別賞(3点)・・・
 モンベルコンパクトカメラケース
 キヤノンマーカーティングジャパン株式会社
 ・株式会社モンベル



特別賞



おなまえ Aさん
ツアーの名称 マングローブカヤッキング (パラオ共和国)



おなまえ 小林昭五さん
ツアーの名称 自然公園指導員と歩く 丹沢三ノ塔エコ登山 (神奈川県)



おなまえ 田中明男さん
ツアーの名称 目にも鮮やかなキノコ、ヒイロタケデー (京都府)

総評

動物写真家・田中光常

エコツアー写真ということで集まった106点の写真は、海や山、川、草原、畑、森など、実に様々な自然と、その環境を楽しむ人たちの表情で彩られていました。エコツアーの一面を切り抜いた写真や、ツアー中に出会った地元の子ども達や動物たちの表情、中にはツアーで感じた環境問題など、撮影者の思いやメッセージが込められた写真が多くありました。今回、エコツアー写真コンテストというのは初めての試みでしたが、本コンテストを通してエコツアーから得る発見や驚き、楽しみなどを発信する良い機会となったのではないでしようか。またの開催を祈念しています。

佳作



おなまえ 青木大地さん
ツアーの名称 天ぶら油りサイクルバスで行く 藤枝・お茶事の村 紅茶&番茶づくり



おなまえ 藤原よう子さん
ツアーの名称 マレーシア・ボルネオ島 体験エコツアー



おなまえ kさん
ツアーの名称 世界遺産半日ツアー



おなまえ 海癒のみつさん
ツアーの名称 大岐の浜のシュノーケル体験



おなまえ NPO 法人五ヶ瀬自然学校さん
ツアーの名称 2010 五ヶ瀬川子ども探検キャンプ



おなまえ 素菜葉さん
ツアーの名称 ウミガメウォッチング



おなまえ Morogui さん
ツアーの名称 皆生海岸海上散策カヤック



おなまえ 金田雅貴さん
ツアーの名称 フロリダ マナティスイム



おなまえ WIND RELATION さん
ツアーの名称 サイパン (北マリアナ諸島)



おなまえ 佐藤博志さん
ツアーの名称 父島周辺1日ポートツアー

遊びトラバナー!!

日本の

エコツアー

全国各地で行なわれている多彩なエコツアーをご紹介します!
子どもと一緒に参加できるエコツアーから外国人の方におすすめのエコツアーまで、
地域の魅力をひきだすガイドさんとあわせてご紹介いたします。
※各ツアーの通し番号は、13ページの日本地図に対応しています。

北海道・東北エリア



①北海道・知床
知床五湖一周ツアー
4月下旬～11月上旬開催

知床はヒグマの高密度生息地のため、国立公園内では日常的にヒグマの目撃があります。

ヒグマとのトラブルを避けるため、2011年から人気の高い知床五湖が利用調整地区に指定され、5～7月は認定を受けたガイドの引率や人数制限等、一定の条件を満たさなければ立入ることが出来なくなりました。詳しくはお問合せください。

(株)知床ネイチャーオフィス
北海道斜里郡斜里町ウトロ東 365
TEL: 0152-22-5041 FAX: 0152-22-5061 URL: http://www.sno.co.jp

少人数制での利用のため静寂な知床五湖を楽しむことが出来ます。雄大な風景と原始の森、スピリチュアルな時間をご堪能ください。
松田 光輝さん



②青森県・白神山地
マタギ小屋宿泊ツアー
通年開催

自然を愛し、自然と人の伝統的なかわりあいを楽しむためのツアーです。昼は地図に載っていないマタギ道を使ってブナ林を歩き、世界自然遺産登録地域外では、作法を守って必要なだけ山菜や茸を採ることもします。夜は焚火を囲んで山菜や茸の料理を楽しみ、夜鳥の声や風の渡る音を聞きながら、大自然の中でやすみます。

正確な知識を堅苦しくなくお伝えし、おちゃらけ抜きで楽しんでいただくよう、努力しています。
萩田 肇さん



白神マタギ舎
青森県西目屋村田代神田 104-35
TEL/FAX: 0172-85-2415 URL: http://homepage2.nifty.com/matagisha/



④北海道・大雪山
天上の楽園・大雪山
フラワーウォッチング
6月～9月開催

花や動物はいつも出会うわけではありません。だからこそ本物を見ていただけるように、最善の努力をしています。
小林 峻さん

一瞬の夏に美しく咲く、高山植物を見に出かけましょう。大雪山国立公園姿見の池園地は標高1600m。ロープウェイを使えば旭岳温泉からわずか10分で天上の楽園に到着します。エコツアーガイドと一緒に花たちの姿を楽しみましょう。

NPO 法人おねす・大雪山自然学校
北海道大川郡東川町西 4 号北 46 番地
TEL/FAX: 0166-82-6500 URL: http://blog.goo.ne.jp/daisetsu_2005



③北海道・札幌
ワイナリーめぐり
(札幌発 岩見沢～三笠)
5月～10月開催

札幌近郊の小規模ワイナリーを訪ねます。葡萄畑を散歩したり、醸造の話の聞き取りも。もちろん、テイスティングの時間もあります。北海道でもトップレベルのワイナリーを訪れ、葡萄畑のテロワールを感じながらゆっくりと流れる時間の中で楽しむ体験は忘れられない思い出になるでしょう。

ゆっくりぞむ北海道
北海道札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 15STV 北 2 条ビル 1F 「パルク札幌」内
TEL: 011-616-9091 FAX: 011-211-4167 URL: http://www.yukkureism.com/

20代の頃、アメリカ、コスタリカ、モンゴルといった海外の国立公園などのエコツアーに参加し、その時に出会ったガイドさんたちに影響を受けて、エコツアーガイドになろうと思いました。
宮川 幸史さん



宝探し
宝を生かしたエコツーリズム

岩手県二戸市の宝さがしは平成4年度から行なわれ、アンケート調査で集められた宝を自然、生活環境、歴史文化、産業、名人に分けて調査を行い、その宝を磨き、誇りそしてツアーなどを開催し紹介してきました。

現在、本市ではエコツーリズムを推進しており、地域で宝を紹介する活動組織が生まれ宝を興す取り組みを行っています。平成23年10月に「全国エコツーリズム大会 in 岩手にのへ」を開催し、本市のエコツーリズムへの取り組みを全国に紹介します。みなさまのご参加をお待ちしております。

二戸市民協働部地域づくり推進課
岩手県二戸市福岡字川又 47
TEL: 0195-23-3111 FAX: 0195-23-6185 URL: http://www.city.ninohe.iwate.jp

ガイドが無い時は彫刻して貰います。彼女がいれば普通にデートとかするんですけど、今は仕事で恋人です(笑)。彼女募集中です。
早坂 雅賢さん



⑤北海道・知床
先住民族と歩く知床の自然
4月上旬～11月上旬開催

北海道のアイヌ民族は、自然を最大限に利用し共存しながら、独自の文化を発展させてきました。アイヌ民族のガイドと共に、雄大な知床の自然をゆっくりと歩きながら、アイヌ民族の自然観や文化、歴史を学ぶツアーです。

NPO 法人知床ナチュラリスト協会
北海道斜里郡斜里町ウトロ東 284
TEL: 0152-22-5522 FAX: 0152-22-5524 URL: http://www.shinra.or.jp/ainutour/index.html

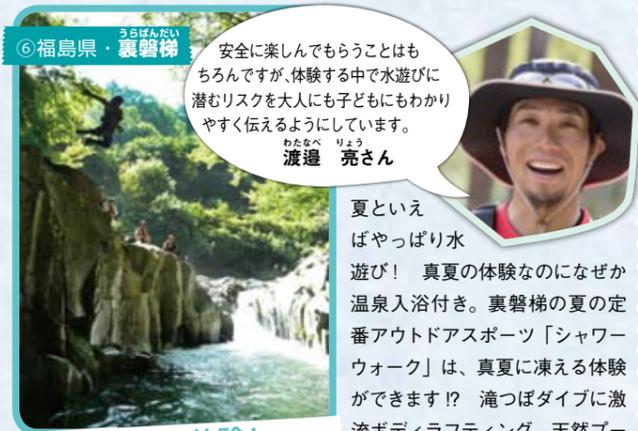


⑦岩手県・八幡平
七滝スノーシュートレッキング
1月～3月開催

標高約900m地点の森の中に入り、七滝を目指して道のない雪の森を進んでいきます。天候や雪の状況によってコースが決まられ、日によってコースが違うこともあります。ゲレンデの喧騒から解放され、小さな沢を越え、聞こえるのは鳥の鳴き声と足音。さらに冬のこの時期しか見ることが出来ない氷に覆われた七滝を楽しむことが出来ます。

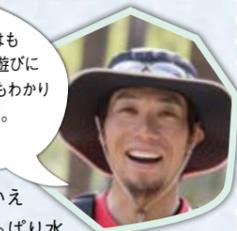
八幡平リゾートスノーアカデミー
岩手県八幡平市八幡平温泉郷
TEL: 0195-78-2577 FAX: 0195-78-3091 URL: www.hachimantai.co.jp

七滝までのコースでとても楽しいことは、サバイバルという感じですね。腰まである深い雪の登りをスコップでかき分けながら進むことや、尻滑りで下ること等々。
片野 正子さん



⑥福島県・裏磐梯
裏磐梯もくもく自然塾
7月～8月開催

安全に楽しんでもらうことはもちろんですが、体験の中で水遊びに潜むリスクを大人にも子どもにもわかりやすく伝えるようにしています。
渡邊 亮さん



夏といえ
ばやっぱり水遊び!
真夏の体験なのになぜか温泉入浴付き。裏磐梯の夏の定番アウトドアスポーツ「シャワーウォーク」は、真夏に凍える体験ができます!? 滝つぼダイブに激流ボディラフティング、天然プールで水中ウォークに犬神家!? 裏磐梯流アドベンチャーは、暑さも吹っ飛ばすこと間違いなし!

裏磐梯もくもく自然塾
福島県耶麻郡北塩原村松原原四季彩の丘
TEL: 0241-32-3010 FAX: 0241-32-3074 URL: http://moku2-outdoor.com/

関東エリア

エコツーリズム検定 環境と観光の両分野を カバーする初の Web 検定!

JES では、旅というシーンをエコにするためのヒントを集めたエコツーリズム検定を2010年4月よりスタートさせました。観光の現場における環境配慮のあり方について学ぶことができます。環境や観光の現場で働いている方、学んでいる方は必検です!

URL : <http://www.ecotourism.gr.jp/kentei/>

⑨小笠原・父島



もともと大好きだった自然をダイビングインストラクターの経験を経て小笠原の海、山で遊んでいるうちにそのすべての繋がりをツアーにしたいと思いました。
竹澤 博隆さん

ドルフィンスイム 通年開催

父島沿岸で見られるミナミハンドウイルカと一緒に泳ぐツアーです。安全面や野生イルカへの負荷を考えてツアーの規模は小型のボートで行なうようにしています。イルカを探し回るだけでなく日本とは思えない景観を誇る南島や世界自然遺産にもノミネートされている小笠原の特異な自然、地質にも触れていくエコツアーです。

竹ネイチャーアカデミー
東京都小笠原村父島字東町
TEL : 04998-2-3305 FAX : 04998-2-3317 URL : <http://www.take-na.com>

リフレッシュ

⑧群馬県・みなかみ



一日遠足カヌーツアー 5月上旬～11月上旬開催

利根川最上流部・首都圏の水がめ矢木沢ダム、奥利根湖で開催されるレイクカヌーアドベンチャーツアー。車や、徒歩では行けない360度人工物の一切ない特別な場所へ漕ぎ進む特別な時間をお楽しみ下さい。ガイド1人に8名(4艇)までの少人数制のツアー構成となっております。

レイクウォーク
群馬県利根郡みなかみ町大穴 142-1
TEL : 0278-72-2870 FAX : 0278-72-2871 URL : <http://www.lakewalk.jp>

首都圏の皆さんが使っている水の源、この奥利根の自然からいっばいのパワーをもらって下さい! リラックス・リフレッシュ・リセットして素敵な笑顔になれる場所です。
たかはし ひでのり
高橋 秀典さん



JES おすすめグッドエコツアー

「自然を楽しみたい、エコツアーに参加してみたい。でも、どれが良いツアーなの?」と悩んでいませんか?

そんな方のために、JES がステキなエコツアーをおすすめします! 楽しいだけでなく、エコツーリズムの概念に基づいた運営がされているかチェックされたツアーが、一目でわかるシステムが「グッドエコツアー」制度です。



URL : <http://www.ecotourism.gr.jp/GET/GoodEcotour.htm>

たツアーが、一目でわかるシステムが「グッドエコツアー」制度です。ぜひ、一度HPをご覧ください。

⑩栃木県・茂木町



美味しく食べよう・ 農作業体験ツアー 4月～12月開催

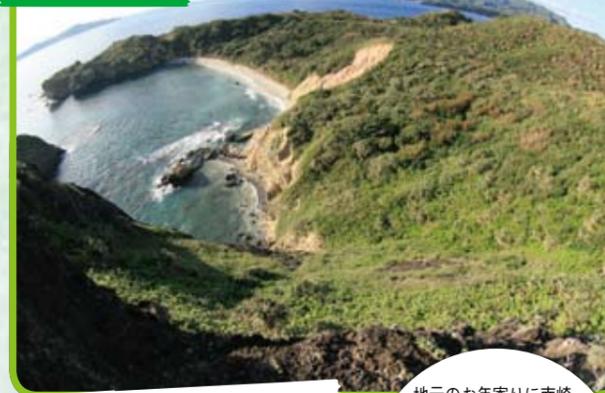
ご家族で体験出来る農作業体験を行っています。まずはお蕎麦の体験ツアー。夏に種まきをし、秋に収穫、冬にそば打ち体験をします。そしてトウモロコシの体験ツアー。これは春に種をまき、夏に収穫、その場で試食をします。最後に棚田でのお米作り体験ツアー。田植え、稲刈りし、最後におにぎりを作って皆で試食します。どれも子どもから大人までみんなで楽しめるツアーです。

NPO 法人昭和ふるさと村
栃木県芳賀郡茂木町木幡 252
TEL : 0285-64-3116 FAX : 0285-64-3119 URL : <http://www.npo-furusato.com>

ガイド中は「おやかた」と呼ばれています。みなさんもお立ち寄りの際は、お気軽に声をかけてください。
さうま けいじ
相馬 啓二さん



⑫小笠原・母島



南崎コース 通年開催

小笠原諸島母島の最南端「南崎」までの亜熱帯の森歩きコースは往復約4km、5歳くらいのお子様から中高年の方まで、幅広い年齢層の方にお薦めできるコースです。特別天然記念物の鳥ハハジメメグロや固有の植物、終点の海にはクジラ、日本国内でこんなにも生物の多様性を感じさせてくれる母島の南崎のコースは私のイチオシの場所です。

地元のお年寄りに南崎コースを案内してもらったことがきっかけです。森歩きしながらお聞きした母島の歴史・文化のお話を引き継いでいこうと思います。
うめ のりこ
梅野 ひろみさん



フィールドエスコート hilolo
東京都小笠原村母島字元地
TEL : 04998-3-2316 FAX : 04998-3-2316 URL : <http://www.hahajima-hilolo.com>

ラジオ

東京海上日動 presents 「Humanglobe Traveler」

架空の旅行会社に勤務する主人公が、究極のエコツアー開発に向けて奮闘する姿を描くラジオドラマです。主人公が様々な自然に触れ、また多くの取材を通してエコについて学び、人間的にも成長していく姿を描いていきます。東京海上日動はお客様とともに地球環境保護活動を行っていただくだけでなく、エコの大切さを世の中に広く伝えたいと考え、同番組を立ち上げました。番組の公式WEBサイトやツイッターを通じてエコに関する様々な情報を発信しています。番組とあわせてお楽しみください。



URL : <http://www.tfm.co.jp/travel/>
【放送局】 TOKYO FM ほか
JFN38局
毎週月曜～木曜 17:30～17:40
(各局で放送時間が異なります。)

⑪埼玉県・飯能



古民家で明治・大正・昭和 のくらしの風を感じよう 通年開催 (不定期)

山村のこの地域には人々がずっと大切に守ってきた石佛や昔話が残っています。それらを巡り、築130年の古民家をご案内します。昼食は、地元野菜や自家製味噌を使った郷土食をお楽しみ下さい。家を支え続けてきた大黒柱、養蚕のため、冠婚葬祭時のための家のつくり等古民家は、多くを語ってくれます。

名栗山人会 (なぐりやまんちゅかい) 町田雅子
TEL : 042-979-0258
※この他の飯能でのエコツアーはこちらをご覧ください。URL : <http://hanno-eco.com/>

旅好きの私は、人の生活文化が見える旅がしたいと平日頃思っていたところ飯能市のエコツーリズムに出会いました。素敵な出会いに感謝。
まちだ まさこ
町田 雅子さん



⑬神奈川県・葉山



海でのんびり シーカヤックハイキング 5月～10月開催

三浦半島と湘南の角に位置する葉山は、都心の近くにありながら海あり山あり川ありと自然豊かなところです。相模湾の向こうには伊豆半島、富士山、沖合には大島と素晴らしい景観です。そんな風景と海鳥、魚たちなど海の生きものとの出会いを楽しみながら、親子でのんびりシーカヤックなどで海をのんびり満喫します。

NPO 法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター
神奈川県三浦郡葉山町下山口 1741
TEL : 046-876-2287 FAX : 046-876-2297 URL : <http://oceanfamily.jp>

海は面白く、素晴らしい、大切な環境です。できるだけ多くの人が、海を楽しんで、大切にしていってほしいと思っています。
うんの よしあき
海野 義明さん



中部エリア

16 山梨県・青木ヶ原樹海



青木ヶ原樹海から富士登山コースまで、全10コースを用意して、大人が楽しめる「大人のエコツアー」を目指しています。

福田 健史さん



青木ヶ原樹海・洞窟探検ミステリーツアー
3月20日～11月30日まで、期間中は毎日開催

「千古の苔を宿した人跡未踏の原生林」と松本清張により紹介された青木ヶ原樹海の奥深く、観光洞窟ではない、ありのままの天然の火山洞窟の中、安全で安心して本格的な洞窟探検をお楽しみ頂きます。樹齢400年のブナとミズナラの巨樹の森の中での昼食タイムも好評を頂いております。当社一番人気の樹海散策コース。

富士エコツアー・サービス
山梨県南都留郡富士河口湖町富士ヶ嶺 821
TEL: 0555-89-2020 FAX: 0555-89-2090 URL: <http://www.fuji-eco.com>

17 新潟県・佐渡島



無理のない計画を元にしたお客様の体力に合わせたペース配分やトレッキングを楽しみながら自然の豊かさが私たちの生活を支えていることを感じてもらうことを大切にしています。

齊藤 浩二さん



神秘の大自然 原生林と杉巨木群
トレッキング ～内海ルート～
5月～11月開催

1日16名限定の入山規制がある新潟大学演習林を、大学認定ガイドがご案内するプレミアムツアーです。風雪に耐え、屈曲した杉など、特異な自然環境が育んだ杉の巨木が林立する原生林をご案内。両津港からの送迎があり、新潟から日帰りでの参加が可能です。海と川と山のつながり、道々の石仏や四季ごとに移り変わる景色をお楽しみいただけるロングコースです。

社団法人佐渡観光協会
新潟県佐渡市両津湊 353
TEL: 0259-27-5000 FAX: 0259-23-5030 URL: <http://www.visitsado.com>

18 長野県・飯山



信越トレイルは、その多くを豊かなブナの森に覆われ、有史以来の人々の生活や交流の歴史が色濃く残る魅力溢れるトレイルです。

榎本 幹夫さん



信越トレイル
トレッキングツアー
6月上旬～11月上旬開催(予定)

信越トレイル全線を6つのセクション(区間)に分けて完全踏破できる日帰りトレッキングツアーです。都合の良い日程で参加できるので、連続して一歩に歩くことができない方におすすめです。ガイドが同行して、車での移動の心配も不要です。全線踏破を目指そう!

NPO 法人信越トレイルクラブ
長野県飯山市照岡 1571-15 なべくら高原・森の家内
TEL/FAX: 0269-69-2888 URL: <http://www.s-trail.net/>

19 静岡県・静岡市



伝統の日本茶から烏龍茶・紅茶など様々な品種・製法のお茶を築130年の農家でお楽しみいただけます。お茶畑、工場の見学も人気です。

森内 吉男さん



お茶の静岡を探るたび
1月～3月開催

全国を代表する“茶どころ静岡”は、富士山をはじめ雄大な自然がいっぱい。そんな恵まれた自然環境の中で育てられた“静岡茶”は格別です。ツアーでは、情熱のある生産者から直接お話を伺いながら、お茶と静岡の歴史探訪ができるコースが人気です。お茶を通じて人と人がつながる静岡型グリーンティーツーリズム。ぜひお試しあれ。

株式会社レイライン
静岡県富士市松岡 1170-1
TEL: 0545-60-4192 FAX: 0545-60-4185 URL: <http://www.rayline.co.jp/>

オオミズナギドリ観察ツアー



日本海にぼつりと浮かぶ新潟県粟島、この島は、「ウミウとオオミズナギドリの繁殖地」として国の天然記念物に指定されています。そんな粟島では、現在オオミズナギドリの観察ツアーを行っています。観察ツアーではただオオミズナギドリを観察するだけではなく眼前に広がる美しい海、その海に沈む夕日、日が沈んでからの満天の星など、粟島の自然を体験できるツアーとなっています。また、島内をフィールドとして研究している研究者と共同で、集落に迷い込んだ雛鳥の保護・放鳥といった保護活動も行っています。



粟島ドリームランド協議会
新潟県岩船郡粟島浦村字日ノ見山 1513-11
TEL: 0254-55-2161 FAX: 0254-55-2159
URL: http://blog.goo.ne.jp/washima_kids/

20 石川県・能登



能登で生まれ育った私が、能登にできる恩返しは「また帰ってくるね」そう言うてくださる能登のファンをつくることです。

今井 淳美さん



奥能登・鉢伏山ですぞ
森びとスタイル～森につつまれる～
5月～10月開催

株式会社ぶなの森
石川県鳳珠郡能登町字目60字41番地
TEL: 0768-76-0600 FAX: 0768-76-0777 URL: <http://www.bunanomori.com/ecotour/>

忙しい毎日でもたまったストレスの解消は大切です。私たちは、森の癒しを活かす“森びと”ライフスタイルを提案しています。森で深呼吸したり、目隠ししたり、ねころもったり。簡単なことですが、とてもリラックスできます。お客様のいきいきした表情が、私たちの励みです。能登で“森びと”体験してみませんか。

14 長野県・軽井沢

ムササビウォッチング
春開催(要予約)



高校理科教師の職を投げ打ち、世界一周の旅をしているうちにピッキオへたどりつきました。現在、ムササビウォッチングの新機軸を開発中です。お楽しみに!!

井上 基さん



ピッキオ
長野県北佐久郡軽井沢町星野
TEL: 0267-45-7777 URL: <http://picchio.co.jp/sp/>

夜の森の人気者・ムササビが軽井沢の夕闇の空に音もなく、ふわりと飛びます。そんな光景をピッキオのエコツアーガイドがご案内いたします。2010年のムササビの目撃率は98.9%! 安心してお楽しみいただけます。4月から原則毎晩開催いたします。所要時間約1時間30分。

エコツーリズム大賞

環境省主催で2005年度から行なわれている「エコツーリズム大賞」。エコツーリズム推進のため、エコツーリズムを実践する地域や事業者の環境への配慮や地域づくり等の優れた取組を表彰しています。8ページの長野県・ピッキオは第1回で、10ページの三重県・海島遊民くらぶは第5回、それぞれ大賞を受賞しています。過去の受賞団体は JESHP や「エコツアー総覧」等でご覧いただけます。

ポータルサイト

エコツアー総覧

本誌面でご紹介しているツアー以外にも、日本国内で様々なエコツアーが行なわれています。環境省の「エコツアー総覧」では、友人グループにぴったりのツアーや、家族におすすめのツアーなど、多くのエコツアーを紹介しています。「エコツアー総覧」でツアーを探し、ぜひ次の休みには、エコツアーに参加してみてください!

URL: <http://ecotourism.env.go.jp/>



15 岐阜県・飛騨

女性にもやさしい



飛騨里山サイクリング
～ふだん着で楽しむ、アクティブな旅～
春から秋、ときどき冬開催

Safety and Fun.これは海外でのガイド経験から学んだことで、安全第一に、お客様に休日を楽しんでもらえるようにしています。

松尾 和久さん



ふだんの観光では味わえない、飛騨の日常を探す旅へ。地元の人知らないような細い道を通って、ガイドが飛騨の自然と文化をご紹介します。ときには、畑作業をするおじや、玄関先で野菜を洗うおばあに会えることも。女性にもやさしいコース仕立て、のんびりスローなサイクリングをお楽しみいただけます。

飛騨里山サイクリング
岐阜県飛騨市古川町式之町 8-11
TEL: 0577-73-5715 FAX: 0577-73-5717 URL: <http://www.satoyama-cycling.com>

熊野の達人と共に楽しむ エコツアー・講座

紀南ツアーデザインセンターには、センター独自のエコツーリズムの理念や活動内容に賛同して集まった達人がいます。熊野を愛する17名が立ち上げた「三重・紀南エコツーリズム推進会」では皆それぞれに得意分野があり、「山・川・海・森・里・熊野古道」の6つの部会に分かれ、エコツアーガイドとして活躍をしています。野外では1年を通じて一番最適な時期に現地に出かけます。また、野外活動に参加できない年配の方には室内講座を設けてご参加いただいています。



紀南ツアーデザインセンター
三重県熊野市木本町 517-1
TEL: 0597-85-2001 FAX: 0597-89-3210
URL: <http://homepage3.nifty.com/kinan-tdc/>

②高知県・黒潮町



ホエールウォッチング 4月末～10月末開催

シーズンは4月末から10月末までで、ニタリクジラの他にハナゴンドウやマイルカも観られます。ウォッチングは8時便、10時便、13時便とあり、所要時間は4時間です。摂餌行動や親子連れ、大群を作って泳ぐ様子など、いろんな姿を観察でき、長期間ウォッチングできる場所だからこの魅力に溢れています。

その場にいらっしゃる全員で大自然の感動を味わい、クジラの素晴らしいだけでなく環境の大切さも伝えられるように心がけています。

しとのみ
央戸 希実さん



NPO 砂浜美術館
高知県幡多郡黒潮町浮輪 3573-5
TEL: 0880-43-1058 FAX: 0880-43-1527 e-mail: kujira@sunabi.com
URL: <http://sunabi.com/kujira/>

近畿・中国・四国エリア

外国の方 ご案内中

①和歌山県・熊野



ガイドと歩く熊野古道 ～中辺路6日間エコツアー～ 通年開催

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を体感していただく6日間のエコツアーです。熊野古道歩き、熊野川川舟下り、熊野三山参詣、そして美味しい食べ物や温泉を楽しみながら、聖地熊野の自然の恵みと癒しに感謝し、最後に待っている、いにしへの参詣道「中辺路」踏破の感動を味わってみませんか。

私達は、世界遺産熊野の自然、精神、文化、歴史を存分に味わっていただくため、お客さまと共に熊野古道を歩くガイド組織です。

とうとうもとこ
藤堂 素子さん



NPO 法人 Mi・Kumano
和歌山県田辺市湊 948
TEL: 0739-33-7663 FAX: 0739-33-7664 URL: <http://www.mi-kumano.com>

エコツアー向け保険

JES では、保険取扱代理店の資格を得てエコツアー向け保険の取り扱いをしています。お陰様でご好評をいただき加入件数も着実に増えています。保険の内容は、エコツアーや体験プログラム等の

- 行事参加者の傷害危険補償特約セット
普通傷害保険 (包括契約)
- 施設所有(管理)者賠償責任保険
などを扱っています。

保険料率等の詳細は、JES のHP でもご覧いただけます。エコツアーを催行されている事業者の方は、ぜひご検討ください。

URL: <http://www.ecotourism.gr.jp/insurance.pdf>
(pdf ファイル)

③三重県・鳥羽



無人島たんけんツアー 7月～8月開催

鳥羽の離島、答志島とその前に浮かぶ無人島。無人島では、誰もいない浜で豊かな自然やさまざまな生き物との出会いがたくさん。答志島では、昔ながらの小さな漁村の路地裏散策。お昼は島のかあさんがつくるおいしいごはん。ゆったりと流れる島時間をお楽しみください。

海島遊民くらぶ
三重県鳥羽市鳥羽1丁目4-53
TEL: 0599-28-0001 FAX: 0599-28-0040 URL: <http://oz-group.jp/>

障害者カヌーのイベントで出会った全盲のバドラー。水面上に浮かびながらキラキラ光る太陽を見上げる顔が忘れられずこの道を選びました。

あなか
田中 希枝さん



⑤鳥取県・米子



米子下町歴史ふれあい街歩き 4月～11月開催

古い歴史を持つスピリチュアルな山陰の、海、山、湖に囲まれた城下町九つのお寺の団地や、お地蔵さん信仰を中心に、駄菓子屋、土産物屋のおばちゃんたちとの会話など、舟で出かける湖遊覧も楽しめます。オプションで座禅体験も可能。

大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会 皆生ツアーデスク
鳥取県米子市皆生温泉 4-1-20
TEL/FAX: 0859-35-6785 e-mail: kaike-nature@shore.ocn.ne.jp
URL: <http://eco.daisenking.net/>

歌って語れる米子下町のエコツアーガイド、レトロな雰囲気は今に残る昔の人情が息づく街、その中をゆっくりとガイドして行きます。

ながい
永井 達也さん



④三重県・名張市



「赤目の木を診る・木を知る」 自然体験エコツアー 通年開催 (基本は毎土曜日)

大地の母なる木をテーマに自然のおもしろさや素晴らしい、色々な角度から体感して参加者と一緒に考える自然体験ツアーです。特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオの生態に関する紹介や、樹木の診断、観察などを行います。

長年携った造園関係の経験や、樹木医の知識を活用することが自然環境の保護、保全と地域活性化につながると考えてツアーガイドになりました。

ひろせ
広瀬 信三さん



NPO 法人赤目四十八滝溪谷保勝会
三重県名張市赤目町長坂 861 番地 1
TEL: 0595-63-3004 FAX: 0595-63-8400
e-mail: info@akame48taki.jp URL: <http://www.akame48taki.jp/>

⑥愛媛県・湊床溪谷



森の国ネイチャーガイド 通年開催 (ご希望日の1週間前までに要予約)

“森の国ネイチャーガイド”と一緒に「日本の滝百選 雪輪の滝」までの往復1時間30分のコースを、溪谷の自然を五感で感じながら往復3時間かけてゆっくりと歩きます。ポイントで立ち止まり、風を感じたり、深呼吸をしてみたり、水に触れたりなどしながら歩いてください。

毎日少しずつ変わりゆく溪谷の季節の移ろい、その変化に気づきお客様と共感できるかという事を大切にしています。

くぼた
久保田 慶蔵さん



森の国ホテル
愛媛県北宇和郡松野町目黒 (湊床溪谷内)
TEL: 0895-43-0331 FAX: 0895-43-0333 URL: <http://www.morinokunihotel.com/>

⑦滋賀県・高島市



古代湖びわ湖の魅力を感じ 5月～10月下旬開催

世界有数の古代湖、びわ湖の魅力に迫る体験ツアーは、源流の森、ブナ原生林から始まり、里山での森林体験、びわ湖でのカヌー体験、湖魚料理作り、夜にはヨシ笛演奏会など、びわ湖の不思議と魅力を体いっぱい感じるツアーです。白砂青松の美しい、夏から初秋が開催時期です。

朽木いきものふれあいの里
滋賀県高島市朽木柏 341-3
TEL: 0740-38-3110 FAX: 0740-38-3212 e-mail: k-fureai@zb.ztv.ne.jp
URL: <http://www.zb.ztv.ne.jp/k-fureai/>

ちよっぴりスバイスの効いた、感動や体験場面が提供できるように、とにかく現場を知り尽くすことに徹しています。

あおき
青木 繁さん



九州・沖縄エリア

28 沖縄県・恩納村

子どもと一緒に



海中観察(シュノーケリング) & 海岸観察
通年開催(要予約)

恩納村の海は、多種多様な生物が元気に生息する生命力あふれた海です。生物や環境への配慮も忘れず、自然を身近に感じて欲しいです。
池原 豊博さん



一年を通し実施する「海中観察 & 海岸観察」は、地元で培った経験豊富なインストラクターが丁寧に案内します。フィールド毎に参加人数を限定し、環境に配慮した体験を行います。生き物を痛めることのないよう最大限の配慮を心がけながら多種多様な生物を観察することで、大きな感動と共に環境保全の必要性と行動力を育むことを目標としています。

沖縄体験ニライカナイ
沖縄県国頭郡恩納村山田 524
TEL : 098-964-1616 FAX : 098-964-1617 e-mail : info@niraikanai.co.jp
URL : http://www.niraikanai.co.jp/

29 熊本県・阿蘇



阿蘇南外輪山に伝わる竜神伝説「宙に浮かぶ岩[免の石]」樹齢四百年を超える「大もみじ」などの巨木群。古の南阿蘇を体感してみませんか。
佐藤 春生さん

南外輪山の南西、久木野地区河陰の標高 700m の山中に岩と岩との間にタマゴ型の大きな岩が挟まった不思議な場所があります。この場所こそ宙に浮かぶ岩こと「免の石」なのです。高さ 20m ものそり立つ左右の大岩の間に縦 3m、横 2m もの巨大な石が挟まる不思議な光景です。

免の石トレッキング
通年開催(要予約)

南阿蘇村役場 企画観光課
熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陰 145 番地 3
TEL : 0967-67-1111 FAX : 0967-67-2073
URL : http://www.vill.minamiaso.lg.jp/web/index.shtml

31 沖縄県・東村



プログラムはお客様と一緒に作っていくもの。同じ場所、同じ時期、時間でも参加者が違えば、その数のプログラムがある
島袋 裕也さん

慶佐次川マングローブカヌー体験
通年開催(満潮時のみ)

満潮時に慶佐次川のマングローブへカヌーで漕ぎ入り、生物の目線でジャングルを観察します。ツアー終了後、サーターアングターとお飲物、ガイドとの「ゆんたくタイム」があります。9割が地域で生まれ育ったガイドで地元ならではのローカル情報もきけます。

やんばる自然塾
沖縄県国頭郡東村字慶佐次 82 番地
TEL : 0980-43-2571 FAX : 0980-43-2585 URL : http://www.gesashi.com/

33 沖縄県・西表島



子どもの頃より泳いだり、カヤックを漕いだり、釣りをしたりと遊んできた浦内川の素晴らしい環境の中でエコツアーガイドが出来ることを心から楽しんでいます。
平良 秀彰さん

マリユドゥの滝と浦内川カヌー下り
通年開催

西表島最大の川、浦内川を遊覧船で 8km 遡り終点の軍艦岩から約 2km の亜熱帯の森をトレッキング。マリユドゥの滝・カンピレーの滝を見学し、戻りはカヌーに乗り換えマングローブや亜熱帯の動植物の観察をしながら 8km をこいで下ります。

浦内川観光
沖縄県八重山郡竹富町上原 870-3
TEL : 0980-85-6154 FAX : 0980-85-6921 URL : http://www.urauchigawa.com/

30 鹿児島県・屋久島



じっくり見る、初めての屋久島
通年開催(要予約)

ガイド中にお客様の一言で私が気づかされることがあります。皆さんと一緒に自然をじっくり楽しみたいと思っています。
松本 毅さん

屋久島は初めてという方のために、YNAC が企画したバックツアーです。屋久島の生い立ちから始まり、植生の垂直分布などを専門のエコツアーガイドがしっかりとわかりやすく解説しながら見ていきます。コースは年配の方でも十分歩ける、ゆったりとしたコースになっています。3泊4日。

(有) 屋久島野外活動総合センター (YNAC)
鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 368-21
TEL : 0997-42-0944 FAX : 0997-42-0945 e-mail : forest@ynac.com
URL : http://www.ynac.com

32 鹿児島県・奄美



奄美の自然や森林に対する畏敬の念をしっかりと表現すること。奄美の森林や野生生物の特徴をぎゅぎゅと伝え、感動を共有することを心がけています。
高 美喜男さん

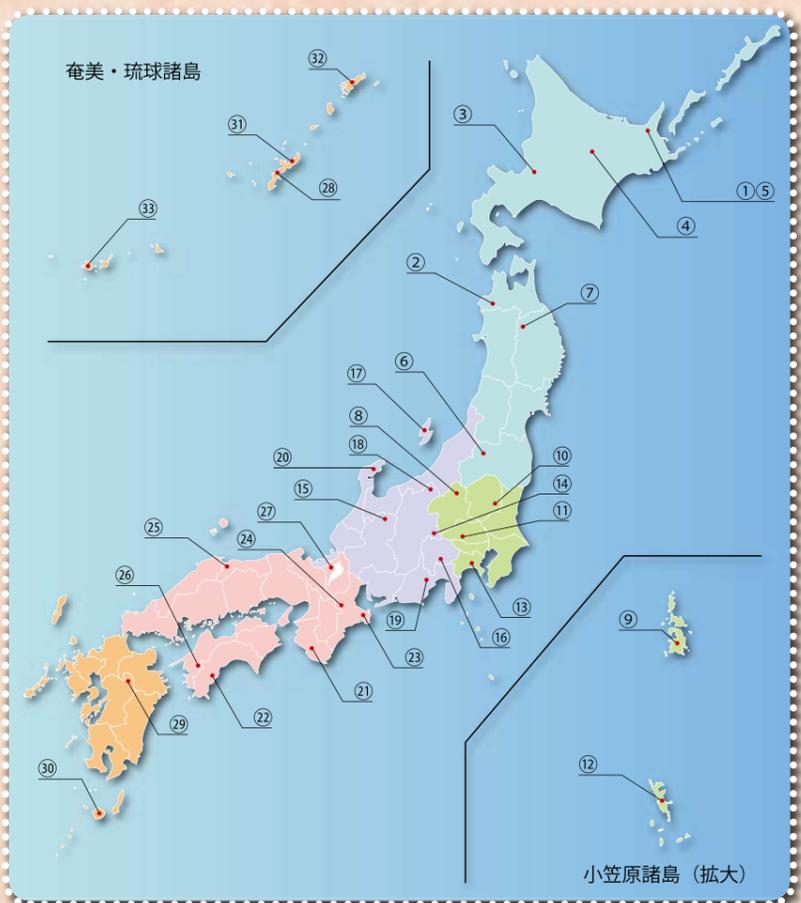
金作原フォレストウォーキング
通年開催(3月を除く)

金作原原生林のコースを散策する予約制少人数ツアーで、お客様の日程に合わせて常時開催(3月を除く)。ツアー内容は、森林の解説や野鳥、植物、昆虫など野生生物の観察及び解説など行いますが、お客様の希望に合わせて、例えば「野鳥観察を中心に」、「主に植物の解説を」など、内容を変えることもできます。

(有) 奄美ネイチャーセンター (ANAC)
鹿児島県奄美市名瀬和光町 12 番 8 号
TEL/FAX : 0997-57-7592 e-mail : info-anac@amami.co.jp
URL : http://www.amami.co.jp/



広がるエコツアーは地域への扉をひらく



※「もっと知りたい!」という方は、ぜひJESのHPやエコツアー総覧をご覧ください。

発行 50号を記念して、各地のエコツアーをガイドさんのステキな笑顔とともにご紹介しました。大自然を楽しんだり、子どもと一緒に身近な自然や暮らしの文化を感じたり、動物とふれあったりと、バラエティ豊かなエコツアーが全国各地で行われ、紙面の都合で、ご紹介できなかったツアーは全国にまだまだ沢山あります。エコツアーは、自然や文化の宝を守り伝え、地域活性化に貢献する旅の総称ですが、北海道から沖縄まで多様な生態系と文化をもつ日本の奥深さを味わえる、抜群の旅のスタイルとすることができるといいます。日本でエコツーリズムが始まってから 20 年。屋久島や西表島、小笠原など国立公園や世界遺産地域から始まったエコツアーの波は、今や全国に広がっています。古より自然と寄り添って人々が生活してきた里山や里海で、個性的なエコツアーづくりが進められるようになり、土地を知り尽くした地域の方がガイド役となったり、子どもガイドを育てて郷土文化を伝えたり、持続可能な地域社会づくりの一つの仕組みにも活用されています。JESでは、エコツアーを通して、自然や文化を守る旅人(エコトリスト)を増やしたいと願っています。本誌紹介のエコツアーを入口に、新しい地域への旅をどうぞ!

JES レポート Report

2010年度 第2回理事会を開催

12月6日(月)に、東京都内にて「2010年度第2回理事会」を開催しました。当日の主な議題は左記の4点です。

- ・全国エコツーリズム大会
- ・第2回全国エコツーリズム学生シンポジウム
- ・環境省エコツーリズム総合推進事業
- ・エコツーリズム検定

今年10月に岩手県二戸市で開催予定の「全国エコツーリズム大会」について真板昭夫理事より、主なテーマなどについての報告がありました。また1月29日(土)に東京大学で開催された第2回全国エコツーリズム学生シンポジウム「開催直前ということもあり、下村彰男理事より内容についての報告がありました。その他の報告事項として、高梨洋一郎総務担当理事より、9月中旬に仙台で開催されたAPECのエコツーリズム・カンファレンスについて報告があり、高梨理事の他、海津ゆりえ理事、小林寛子理



エコツアー体験記や学生委員おすすめ図書など、エコツーリズムに関する情報が満載！参加型情報ブースにもたくさんの方にお越しいただき、参加者の情報共有の場となりました。

環境省請負事業 エコツーリズム推進 方策検討会開催

昨年11月に開催された行政刷新会議の事業仕分けによって、国(環境省)のエコツーリズム総合推進事業費が予算計上見送りの判定を受けました。これによって、少なくとも平成23年度予算へのエコツーリズム関連事業費の予算計上がなくなり、平成24年度の予算要求を待つことになりました。

平成16年のエコツーリズム推進会議開催以来、全国でエコツーリズム推進のための様々な事業が行われてきました。平成20年にはエコツーリズム推進法も施行され、各地の自然環境保全や地域振興に果たすエコツーリズムの役割が益々高まってきている中で、今回の判定に、当初関係者間でも驚きの声がかれましたが、今はこれを機会に推進の方向をより良いものにしていくという機運が高まっています。

環境省では、平成24年度以降の施策内容についての検討会を、本年2～5月にかけて開催します。JESでは、本

学生部会 活動報告

2011年1月29日、東京大学にて「第2回全国エコツーリズム学生シンポジウム」を開催しました！受付後、弥生講堂アネックスではポスターセッションによる研究発表が行われました。ポスターの前では、参加者のみなさんが熱心に耳を傾けていました。また学生部会では、今回新たな試みとして「エコツアー情報ブース」を設置しました。「エコツアー情報ブース」には、

事、そしてJES会員でもある札幌国際大学の市岡先生が参加し、「日本型エコツーリズム(里山ツーリズム)」をもっと世界に発信していく必要性を感じた旨の報告がありました。

環境大臣訪問

12月16日(木)、JESの愛知和男会長が、環境省の松本龍大臣を訪問し、エコツーリズムの予算に対する要望書を手渡しました。次年度、環境省のエコツーリズム総合推進事業費の予算計上が見送られたことを含め、エコツーリズムの今後について話し合いを



環境大臣訪問の様子

エコツアー体験記や学生委員おすすめ図書など、エコツーリズムに関する情報が満載！参加型情報ブースにもたくさんの方にお越しいただき、参加者の情報共有の場となりました。

開会后、株式会社JTBの田川博己代表取締役社長から基調講演をいただきました。基調講演のなかで、うなずいたりメモをとったりという真剣な学生の姿が印象的でした。「環境」「地域」「観光」のテーマでの研究発表は、力作揃いでどれも興味深いものでした。また研究発表のあとのグループ別ワークショップも今回の新しい企画です。はじめは緊張している場面もありましたが、最後には時間が足りない程、熱い議論が交わ

今年で第2回目の学生シンポジウム。学生委員が知恵をしぼり、工夫をこらしてつくりあげたシンポジウムでした。学生からの提言は「つながること」「継続すること」「書を持って旅に出よう！」です。参加者のみなさんが今回のシンポジウムで得た知識やアイデア、自分自身の気づき、そして人とのつながりをそれぞれのフィールドに持ち帰ってほしいと思います。

当日は、シンポジウムへ185名、交流会へ93名の方々にご参加いただきました。本当にありがとうございました。

「三探しから持続可能な地域づくりへ」出版記念セミナー開催報告

11月6日(土)京都の学芸出版社にて、「三探しから持続可能な地域づくりへ」日本型エコツーリズムとはなにか」と題してセミナーが開催されました。本セミナーは、JESの真板昭夫理事、比田井和子監事、高梨洋一郎理事による同名の本の出版を記念してのもので、学芸出版社、JES、京都嵯峨芸術大学観光デザイン研究センターの共催で行われました。

エコプロダクツ 2010に出展

昨年東京で開催された日本最大級の環境展示会、エコプロダクツ2010に、前回に引き続き出展しました。



エコプロダクツ2010に出展の様子

エコツアーガイド養成講習会 in 佐伯開催報告

11月22日(月)～24日(水)の3日間、大分県佐伯市の米津地区公民館において、「エコツアーガイド養成講習会 in 佐伯」が開催されました。地元住民の方を始め佐伯市内、遠方は香川県からも含め、エコツアーガイドに興味がある方、総勢44名の参加がありました。



エコツアーガイド養成講習会 in 佐伯の様子

50号発行を記念して
「エコツーリズムの力」を発信する役割は不滅
 高梨洋一郎 (初代編集長・JES 理事)

形のないものを見えるようにする。今流に言えば、物事を可視化するということになるだろうか。私たちの会報誌『ECO ツーリズム』もそんな思いで生まれ成長し進化してきた。企画から取材・執筆・編集・デザイン・印刷そして広告集めまで、一冊の雑誌が読者の手に届くまでには、実に多くの人の思いが凝縮されている。それが媒体の力だ。

「まったく新しいメッセージを届けるには従来にない版形にしたい」というデザイナーの発案で誕生した会報誌は、B5版横長変形で縦組みという奇抜な形でスタートした。『ECO ツーリズム』というタイトルは、エコツーリズムがエコロジーとツーリズムの合成語であると共に、その共生を目指す新しい理念であり・概念であるということをはっきりと主張しようという思いから生まれた。執筆から編集・デザインまで全てがボランティアベースで制作された。その後、情報収容力を増すためにA4版に形を変え、表紙がカラー化されて今日を迎えているが、その基本は今も同じだ。

ITメディアの時代を迎え、やがて本誌もその形を変える時がくるかもしれない。しかし、「エコツーリズムの力」を社会に伝える“媒体”として、『ECO ツーリズム』の役割は不滅である。



エコツアーガイド養成講習会 in 佐伯の様子

休憩後、10月に急逝された阪南大学の前田弘先生に替わり、高梨理事のコーディネートでパネルディスカッションが行われました。先出の三名に西表島の方が急遽加わり、エコツーリズムの熱い討論が展開されました。

終了からの懇親会では、沖縄県南大東島のマグロ・サワラ・イカをはじめ、二戸市や淡路島などそれぞれの地域から持ち込んだ食材と、日本と世界のワイン、各地の地酒などを楽しみながらエコツーリズムによる地域づくりの話題で大いに盛り上がりました。

エコツアーガイド養成講習会 in 佐伯開催報告

11月22日(月)～24日(水)の3日間、大分県佐伯市の米津地区公民館において、「エコツアーガイド養成講習会 in 佐伯」が開催されました。地元住民の方を始め佐伯市内、遠方は香川県からも含め、エコツアーガイドに興味がある方、総勢44名の参加がありました。

当日の講師はスイスでも活躍され観光カリスマとして知られている山田桂一郎さんを始め、(財)尾瀬保護財団の安類智仁さん、(株)知床ネイチャーオフィスの松田光輝さん、(株)ピッキオの楠部真也さんと横山昌太郎さんという、全国トップクラスの講師陣をお招きして、地域の自然歴史、文化など固有の資源を

エコツアープロデューサー養成講習会 in 飛騨市開催報告

12月12日から3日間にわたり、「エコツアープロデューサー養成講習会 in 飛騨市」が岐阜県飛騨市で開催されました。主催者の呼び掛けに集まった方々はもちろん、エコツー

雨の恵みも自然の驚異も感じた3ヶ月間



Lone pine koala sanctuary 提供。洪水時に保護されたワラビー。

クレストアーツ エコツーリズム・オーストラリア協会認定エコガイド/査定官 藤井慶輔 (オーストラリア在住) 日本でも連日報道されたオーストラリアのクィーンズランド州(以下QLD)の大洪水被害を受けた土地から、そう遠くないゴールドコーストから書いています。

私のエコツアーの特徴は、1億8000万年前の Gondwana 大陸時代に繁栄した「多雨林」を散策することです。そこでは昨年の9月末から雨が降り続き、約90日の間に雨の日は69日間、降雨量は例年の2倍以上を記録しました。

楽しみにして来たオーストラリア旅行で、お客様には“雨はマイナス気分”という方が多いのですが、多雨林にとって雨は必要です。雨のおかげで森は清涼な蒸気に包まれて、野鳥は飛び交い、有袋類は安心して姿を見せ、滝は迫力満点!となります。

水は生命の源ですからお話の内容もおお客様の気持ちを考えながら、水にまつわるトピックに起承転結させて森と参加者を結びつけました。お客様の感想の多くは「楽しいガイドをありがとう」「雨なのに神秘的だった」「貴重な体験だった」「命の重みを感じた」そして「晴れた日も来てみたい」という事でした。雨だから味わえた、雨や太陽の恵み、そしてその光景が心に響いた時、どんな状況であれ感動を呼び覚ませる事を自分でも学んだ日々でした。

逆に雨のせいで鉄砲水や濁流、都市の冠水など QLD の約75%が被災地域となりました。その被害額は史上最悪とされ、被害は人だけでなく動植物にも及びました。最寄りの動物保護区では、住処を失い、濁流から救助された動物が保護されています。ツアーの不催行日数も過去最高で、雨の恵みも自然の驚異も感じる3ヶ月間となりました。

クリッピング

News

JES Info
広告掲載募集のお知らせ

JESでは、会報内に掲載する広告を募集しています。掲載費につきましては、事務局までお問合せください。

- ・発行日:春号(2月)、夏号(5月)、秋号(8月)、冬号(11月)
- ・発行部数:10,000部
- ・配布先:会員の他、地方公共団体、イベント等で配布
- ・広告掲載サイズ:
 - 1)全ページ 250mm×180mm
 - 2)半ページ 123mm×180mm
- ・色:2色
- ・縮切:発行日の2ヶ月前
- ・入稿仕様:完全版下データ

インターン募集中!

JESでは、以下の内容でインターンを募集しています。業務を通じ、エコツーリズムやNPOの活動について学びたい方のご応募をお待ちしています。

- 【応募資格】
- 1)基本的な文章作成能力があること
 - 2)基本的なPCスキル(MS Word、Excel、電子メール等が使える)を持っていること
- 外国語能力(英語に限らず他言語も歓迎)があると尚良。
- 【業務内容】
- 以下の業務担当および補助。
- ・イベント、講習会等の企画、準備、運営。受付作業含む。
 - ・学生会会の企画・運営
 - ・世界のエコツアー推奨制度調査
 - ・HP作成 他

- 【応募方法】
- Eメールあるいは電話連絡後、履歴書(形式自由)と「インターンでやりたいこと」と題した作文をJES事務局までお送りください。書類選考の上、面接日をお知らせします。(応募書類は返却しません。)
- 【締切】5月25日(水)
- 【お問合せ】JES事務局
TEL:03-5437-3080
FAX:03-5437-3081
E-mail:ecojapan@alles.or.jp

※インターン制度への参加は、スタッフへの登用を約束するものでも、義務付けるものでもないことをご了承ください。

江崎さん(JES会員)地域づくり総務大臣表彰を受賞

三重県海島遊民くらぶ代表の江崎貴久さん(JES会員)が、平成22年度の「地域づくり総務大臣表彰」の個人表彰を受賞されました。これは地域の活性化に貢献した団体や個人に贈られるもので、昨年12月に東京で表彰式が行われました。



平成21年度の「エコツーリズム大賞」受賞につづく大臣表彰で、今回の受賞は、「エコツアー主催に留まらず、ツアーから得た収益の一部を環境教育・保全教育資金として漁協への寄付や子ども達の事業へ還元するなど持続可能な仕組みづくりを実践していること」が主な理由です。詳しくは以下のサイトをご覧ください。

【HP】http://www.soumu.go.jp/main_content/000094313.pdf

Close Up
「天橋立プラスone(何か)でエコツアーが本格スタート

京都府宮津市は天橋立をはじめ美しい海岸線や緑豊かな山々など、素晴らしい自然環境に恵まれています。2007年には里地里山を含むエリアが「丹後天橋立大江山国定公園」の指定を受けました。



しかし、過疎・高齢化が加速する中山間地域ではコミュニティ維持に課題を抱えています。棚田や笹葺き家屋が残り、「にほんの里100選」にも選ばれている上世屋集落では、全国で唯一「藤織り」とよばれる織物技術が継承されていますが、これも地域外人材による活動が支えています。

こうした地域資源を守り継承するため、地域の魅力を発掘する市

民団体、伝統技術を継承する保存団体、観光関連施設、財産区、観光協会など幅広い分野の団体が参画し、2008年、宮津市エコツーリズム推進協議会が設立されました。

人材育成事業として約30名が一年間のガイド養成講座を修了し、作成したガイドブックをお客様にお配りしている他、旅行会社へのPRや、地域住民への啓発など、大いに活躍しています。また技術継承として、地域住民の講師によるかんじきや柿渋、シナ縄などの山村生活技術を学ぶ講座も実施しています。

2010年度から、旅行会社との提携によるツアーを実施、地元素材を使ったお弁当や何でも持ち寄るマーケットなど、地域の積極的な参加による創意工夫を凝らした内容が好評をいただいています。

エコツアーを持続可能な仕組みづくりに向けて、内容を一つ一つ丁寧に検証し取り組んでいきたいと考えています。(宮津市エコツーリズム推進協議会事務局 宮津市産業振興室 西山 祐美子)

Events
五感で楽しむまちフォーラム開催

環境省が主催する「五感で楽しむまち大賞」が決定しました。これは、五感に心地よく楽しい「まち」の環境づくりや維持に係わっている個人、市民団体、グループ、自治体などの優れた取り組みを表彰するものです。

地球環境や五感について考えたり行動したりしている環境検定合格者の投票と、学識経験者の審査を踏まえて行われ、「環境大臣賞」「エコピブル賞」「環境カオリスタ賞」「エコツーリズム検定賞」が選定されました。応募総数47件から各賞が選ばれ、表彰式が開催される予定です。エコツーリズムにも関るこの賞。ぜひ各団体の取り組みを表彰式にてご覧ください。

【日時】3月8日(火)
【場所】明治安田生命ホール(東京都新宿区)
【詳細】<http://www.env.go.jp/air/sensory/taisho/forum/index.html>

Regional Info
『対馬エコツーリズムガイドブック』発行

九州北部の日本海に浮かぶ対馬は、面積の89%を森林が占め、国

の天然記念物に指定された原生林が三箇所あり、ツシヤマネコなどの珍しい生物が生息する自然豊かな島。韓国まで49.5キロの位置にあり、島の中央にはリアス式海岸・浅茅湾が広がり、その穏やかな海域は古代から天然の良港として知られ、日本と大陸の緊張と交流の歴史が刻まれてきました。

2010年11月、対馬観光物産協会では、雄大な自然と悠久の歴史の島・対馬で楽しむことができるレジャーを紹介する「対馬エコツーリズムガイドブック～国境の島 心を解放する旅～」を作成しました。日本エコツーリズム協会のグッドエコツアーに推奨されている「対馬の自然と歴史を満喫するシーカヤックツーリング」をはじめ、原生林トレッキング、スキューバダイビング、希少在来馬「対州馬」の乗馬体験、国防の最前線・要塞ウォーキングなど、内容は個性的で盛り沢山です。

対馬の自然・歴史は一見大陸的に見えますが、九州最多の式内社(神社)群は、対馬が日本文化の源流のひとつであった事実を物語っています。対馬は、「日本の源流」のひとつであり、「中央政府」が決して直接対峙することがなかった外国との緊張と交流を経験してきました。

対馬への旅は、我々の源流にふれる旅になるはず。小船で大海を渡った我々の祖先のように、海を越え、「心を解放する旅」を体験してみませんか?(対馬観光物産協会)

【お問合せ】
対馬観光物産協会
TEL:817-0022
長崎県対馬市厳原町区分1441
対馬市役所1F
TEL:0920-52-1566
FAX:0920-52-1585
URL:<http://tsushima-net.org/>



「山はみんなの宝!全国大会」参加報告

昨年の11月30日(火)、東京の日本青年館で行われた「山はみんなの宝!全国大会」に参加しました。前号のインタビューでご紹介した環境省による山小屋のトイ

レ整備を補助する事業「山岳環境と浄化・安全対策緊急事業費補助事業」が環境省の行政事業レビューで「廃止」とされたことをきっかけに、トイレだけでなく山の自然保護と適正な利用を多くの人たちで考えるために行われました。

300名が入る会場は、ほぼいっばいで冒頭に「いま、山の現場で何が起きているか。山を守るための役割分担をみんなで語ろう」という問題提起がなされ、三つの分科会と一つのパネルディスカッションが行われました。



パネルディスカッションは「山の恵みと自然の保護と利用」と題し、ボーイスカウト日本連盟の奥島理事、モデル・女優のKIKIさん、(株)モンベルの辰野代表取締役会長、日本山岳協会の田中会長、早稲田大学の宮口教授ら5名のパネリストと、こども環境学会会長・東海大学小澤教授によるコーディネートで進められました。

ディスカッションでは、「受益者負担について立場をこえて議論する良い機会」、「応分の負担をどの程度したら良いのか、これから議論が必要」、「登山が格闘技からスポーツ、レジャーへと変化してきた。それにあわせて山岳会などに属さない人への広報・普及活動が必要」、「山と関わりを持ってきた地元の方々の暮らしに目を向け、交流を通して価値を再発見することにつなげてほしい」など、受益者負担の仕組みに関する議論の必要性や、広報・普及活動、交流の重要性などの意見が交換されました。

最後には、山の自然環境保全と適正な利用のあり方をさらに深く議論し、提言する場として「山はみんなの宝!国民会議」の設立が宣言されました。

International Info
ヨーロッパエコツーリズム会議と地域協力への動き

2010年9月にエストニアのバルヌで開催された第1回ヨーロッパエコツーリズム会議(European Ecotourism Conference)では、エストニアをはじめ、ノルウェー、スウェーデン、ルーマニア、スペインなどからエコツーリズム協

会、またヨーロッパ各地でエコツーリズムや自然保護に関わっている団体の代表が多数集まりました。参加者や支援者からの声を受け、TIES(国際エコツーリズム協会)と上記の協会代表者により、この会議を毎年開催していくこと、そして地域内でエコツーリズムを奨励するためのパートナーシップを強化していくことを目指して新しいグループ(EuroEco Network)が誕生しました。



2011年にはEcotourism Norway(ノルウェーのエコツーリズム協会)主催により第2回のヨーロッパエコツーリズム会議がノルウェーのヤイロにて開催されます(2011年5月30日~6月2日)。2011年会議に関するお問い合わせはTIES江崎(e-mail:aezaki@ecotourism.org)か、Ecotourism Norway(<http://www.ecotourismnorway.org>)までお寄せください。

インドでエコツーリズムワークショップ開催

インドエコツーリズム協会が、インド南部のマハーバリプラムにて第5回目となる「インドシリーズワークショップ」を、2010年11月26~27日の2日間にわたり開催しました。「レスポンシブル・ツーリズム(責任ある観光)の実践」をテーマとし、観光産業、観光庁、観光教育機関など69団体が参加。ワークショップを通じ、エコツーリズムを「受け入れ先の地域コミュニティや国に利益をもたらすだけでなく、自然、遺跡、芸術、生活習慣を保護し、低影響かつ教育要素のある環境および文化を尊重した旅」と定義しました。その他、環境悪化とその回復について、環境配慮型の供給ラインの必要性、官民協力の必要性、地域社会参加などについて話し合いが行われました。

【HP】<http://www.expresstravelworld.com/201101/edge01.shtml>(英語)

エジプトがエコツーリズム・プロモーションを喚起

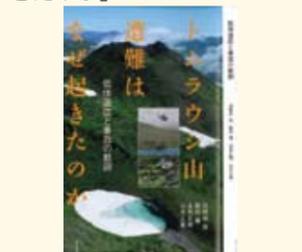
2010年12月、エジプト観光大臣Zoheir Garannah氏はエジプト国内で急激に進む異常気象に対し、エコツーリズムプロモーションの強化の必要性を訴えました。

大臣はローカルメディアにて、「危機感を持って観光政策に取り組まない限り、更なる悪化は明白である」とコメントしました。先駆けとして、観光省はエジプト紅海のリゾート地であるシャルム・エル・シェイクへのエコツーリズムの導入を検討しています。

エジプト観光省によると、2009年には1250万人の旅行者がエジプトを訪れましたが、2010年8月時点で旅行者数は2009年度同月比で18.7%増加しています。国としての環境配慮型観光の施策が求められています。

グーグルのグリーン戦略についてもう少し深いところを知りたいという方には物足りないかもしれませんが、図表も多く、入り口としては非常に読みやすい書籍です。

【著者】新井 宏征
【発行】インプレス R&D
【定価】1,700円(税別)
【ISBN】978-4844328483



本書は、2009年7月に北海道の大雪山系・トムラウシ山で起きた18人のツアー登山者のうち8人が死亡するという大規模な遭難事故を、生還したガイドの証言や調査報告書などからふりかえり、死因となった低体温症について解説し、最後にツアー登山の現状についてまとめています。全体を通して貫かれているものは、二度とこのような事故を繰り返さないために、という姿勢です。巻末では、真夏でも起こる低体温症、山の恐さ、一人でも多くの方がこの事故から教訓を得られることを願いつつ、締めくくられています。

【著者】羽根田治ほか
【発行】山と溪谷社
【定価】1,600円(税別)
【ISBN】978-4-635-14014-0

『グーグルのグリーン戦略』



検索エンジンとしておなじみのグーグル。フリーメールサービスGmailや、ウェブブラウザChrome

など、新たなサービスを提供し続けている企業ですが、持続可能な社会形成を推進すべく、様々な分野での取り組みを行なっています。特にデータセンターの紹介項目では、「環境にやさしい」ということは、ビジネスを競争力のあるものに保つために欠かせない」と前置きをし、経済的なメリットがあるからこそ継続的に省資源に取り組む意義を示しています。リーディングカンパニーとしてのグーグルの取り組みを知るには、全編通して格好の入門書です。

グーグルのグリーン戦略についてもう少し深いところを知りたいという方には物足りないかもしれませんが、図表も多く、入り口としては非常に読みやすい書籍です。

【著者】新井 宏征
【発行】インプレス R&D
【定価】1,700円(税別)
【ISBN】978-4844328483



2009年、NHKにてエコツアーの番組が一年かけてBSと地上波で放送されました。世界各地のエコツアーが紹介された番組がDVDボックスになって昨年発売され、「ユーラシア大陸編」「環太平洋・インド洋編」「アフリカ大陸編」「南北アメリカ大陸編」の4枚で構成されています。JESのイベント「エコツアーカフェ」で紹介された国も登場します。

ひとつの国や地域につき、およそ20分で程よくツアー内容が紹介され、ツアーの参加費、アクセス方法、参加時の注意点など、実際に訪れるための情報も盛り込まれています。ガイドさんが必ず知っているのも見所のひとつ。非常に分かりやすいので、「海外のエコツアーについてちょっと知りたい」という方にはお薦めです。
【発行・販売】NHKエンタープライズ
【定価】15,200円(税別)
【収録時間】全596分(4枚組)

事務局通信



メールニュース

会員のみなさまへの情報提供のひとつとして、週一回メールニュース「JES NET」を配信しています。JESのイベント紹介をはじめ、インターネットでエコツアーや環境に配慮した宿泊施設の情報を引き出す「エコツアー総覧」の利用ランキング、エコツアー関連イベントなどを掲載しています。まだ受信されていない方は、事務局へご連絡ください。

講師派遣うけたまわります

JESではエコツーリズムに取り組みたい地域へ専門家派遣を行っています。講演会、研修、現地調査など、形式は問いません。エコツーリズムに関心があるがどのように進めたいかわからないなど、地域の課題にJESの専門家が答えられます。

人材養成講習会 うけたまわります

エコツーリズムを推進する人材育成をしたいというご要望

望にお応えして、JESではエコツアーガイド養成講習会、エコツアープロデューサー養成講習会を実施しています。いずれも基本は2泊3日のカリキュラムをご用意しております。

折込広告サービス

季刊「ECOツーリズム」では会報発送時の折込広告サービス(有料)を行っています。詳細はJES事務局までお知らせください。

会員募集中!

一緒にエコツーリズムを盛り上げませんか? JESでは随時、会員を募集しております。また、会員の方で周りの方々にJESの活動をご紹介いただける際には、会報やパンフレットをお送りします。

会報バックナンバー

好評頒布中
バックナンバーはHPに掲載されています。

JESでは、 エコツーリズムを左記の ように捉えています。

エコツーリズム
自然や文化への理解を深め、そのよりよい保全とゆとりある活用により、みずみずしい観光と産業を持続的に発展させる運動。

エコツアー

自然や文化にやさしい旅行
JESの活動目的(MISSION)
エコツアーの普及促進・観光による環境と文化への社会的貢献

JES行事予定

- 3/24 エコツアーカフェ(東京都)
- 3/9,4/13,5/11 JESフォーラム(東京都)
- 3/25~27 エコツアーガイド養成講習会 in飛騨(岐阜県)
- 会議等実施・派遣報告**
- 2010
- 11/15 第2回全国エコツーリズム学生シンポジウム実行委員会
- 11/22~24 エコツアーガイド養成講習会in佐伯市(大分県)
- 11/25,12/16 エコツアーカフェ(東京都)
- 12/4 エコツアーカフェin北海道・JES後援(北海道)
- 12/6 企画委員会・2010年度第2回理事会(東京都)
- 12/9~11 エコプロダクツ2010出展(東京都)
- 12/12~14 エコツアープロデューサー養成講習会 in飛騨(岐阜県)
- 12/13 第2回全国エコツーリズム学生シンポジウム実行委員会
- 12/13 JESフォーラム(東京都)
- 12/20 エコツアー写真コンテスト審査会
- 2011
- 1/29 第2回全国エコツーリズム学生シンポジウム(東京都)
- 2/6 自然環境を活かしたツーリズムシンポジウム(講師派遣・鳥取県)
- 2/11~12 エコツアーガイドセミナー(講師派遣・岐阜県)
- 2/14 第1回エコツーリズム推進方策検討会(環境省)
- 2/24 エコツアーカフェ(東京都)
- メディア報告**
- 2010
- 11/26 FM.Salus(ラジオ)出演
- 12/10 『BE-PAL』2011年1月号掲載

インタビューだより

私は発展途上国における観光開発に関心があり、今まで座学で勉強してきた事を現場において実践してみたいと思い、昨年インドネシアのスマトラ島のパダン市立観光局にてインターンシップに参加しました。ところが、エコツーリズムや観光地の震災復興プロジェクトの提案は、褒められるもの、実際に上司からのGOはなし。原因は資金や政治的エネルギーが足りないということもあるのですが、現地のことを考えているようで実は考えていない「おせっかい」にあつたのではないかと思います。例えば、現地にとつて震災復興は求められていても、観光を通す必要はあるのでしょうか。現地の人にとつては、あくまでも観光というのはその手段のひとつ。自分の中で、エコがエゴになつていたのだと気付かされた瞬間です。実際に私が実行させてもらい、成果を出す事ができた企画のひとつは、地域の民間ホテルを一軒ずつ調査して回り、行政である職場とは今までなかったコネクションをつくるというものでした。勉強した事を実践するという機会はありませんでしたが、それよりも観光復興における「現地のため」とは何かについて、深く考えさせられた4ヶ月間でした。

(JESインターン・時田暢子)

事務局だより

昨年のJESフォーラムで藻谷浩介さんにお会いし、彼のベストセラー『デフレの正体』という本を事務局にいただき、早速読んでみました。この本によると日本のデフレの原因は、国際競争力や地域間格差にあるのではなく、現役世代減少と高齢者激増による内需不振のためということであることにみんなが気づき、真面目にやればきっと成果が出てくる、と書かれ、最後は「多様な個性のコンパクトシティ」と美しい田園が織りなす日本」という将来へのビジョンで締め括られていました。

先ごろ講習会の事務局として、岐阜県飛騨市や大分県佐伯市を訪れる機会があり、そこで美しい里山や里海を舞台に、エコツーリズムを活用した個性的なまちづくりが行われているのを見、先程のビジョンとのつながりを強く感じ、嬉しく思いました。(JES事務局・大森)



■個人会員 497人 ■学生会員 50人 ■法人会員 96人 企業・団体名:(株)アイ・コーポレーション/(株)ICS コンベンションデザイン/NPO 法人 赤目四十八滝渓谷保勝会/(財)阿蘇地域振興デザインセンター/飯田観光協会/(社)伊賀上野観光協会/西表サンクチュアリーリゾートニラカナイ/(株)ユニマツコスモ/(株)西表島観光センター/岩手県二戸市/(合)浦内川観光/(株)エイチ・アイ・エス エコツーリズムデスク/ANA セールズ(株)/オーストラリア政府観光局/小笠原海運(株)/小笠原村/沖縄県文化環境部自然保護課/沖縄体験ニライカナイ/(財)尾瀬保護財団/(株)風の旅行社/(株)環境研究センター/(株)キースエンタープライズ/北塩原村/紀南ツアーデザインセンター/(財)休暇村協会/近畿日本ツーリスト(株)/近畿日本ツーリスト労働組合/(株)グローバルユースビロー/高知エコデザイン協議会/(財)国立公園協会/(株)コスモスインシア/サービス・ツーリズム産業労働組合連合会/させばーバル・シー/(株)ジェイティービー/JTB アメリカ東京支店/ジェイティービーオーストラリア PTY LTD./ (株) JTB ガイアレック/(株) JTB 関東/JTB 協定旅館ホテル連盟/(株) JTB 首都圏 ビジネス開発推進室/(株)ジェイティービー能力開発/(株) JTB 法人東京/(株)ジェイティービーヨーロッパ/(株) JTB ワールドパッケージング/JTB グループ労働組合連合会/(株) JTB コミュニケーション/JPT TOURS PTY LTD/滋賀県高島市/(有)資源デザイン研究所/(財)自然公園財団/自然堂(株)/(株)ジャルパック/NPO 法人 昭しるさと村/NPO 法人 知床ナチュラルリスト協会(NPO SHINRA)/新日本ツーリスト(株)/スカンジナビア政府観光局/西武トラベル(株)/(社)全国旅行業協会/大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会/(有)地域観光プロデューサーセンター/(株)ツーリズムワールド/東京海上日動火災保険(株)/東京都/京都市大学 環境情報学部/東北紙工(株)/DOKI DOKI TOURS/鳥取県大山町/トッツアー(株)/長崎県自然公園協議会/(財)名古屋市民休暇村管理公社/(株)ナビックス/(社)日本アロマ環境協会/(社)日本観光協会/(株)日本航空インターナショナル/(財)日本交通公社/(社)日本ナショナル・トラスト協会/NPO 法人 日本ヘルスツーリズム振興機構/(株)日本旅行/(社)日本旅行業協会/ニュージーランド政府観光局/(株)乃村工務社/(株)博報社 企画業務局/八幡平リゾート/(有)ピーエヌジージャパン/(株)ピッキオ/富士急行(株)/(株)マイルポスト/Mt.6/マカオ観光局/(社)松本観光コンベンション協会/(株)未来政策研究所/森の国ホテル/(株)モンベル/(財)屋久島環境文化財団/(有)やんばる自然塾/「ピオスの丘」/(有)らんの里沖繩/(株)ワールド航空サービス (2011年1月末現在)

